

# JCPRESS 2020

夏号  
2020年7月発行

## 「小金井フードドライブ支援」

5月18日(月)～6月12日(金)までの平日  
社会福祉法人小金井市社会福祉協議会

### 事業報告▼

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりアルバイトができなくなってしまった学生が増えている――

その状況を知った小金井青年会議所と社会福祉法人小金井市社会福祉協議会が、小金井市内在住・在学の学生の方々を何とかして支援したいと考え、両団体の協働で「小金井フードドライブ支援」がスタートしました。

「小金井フードドライブ支援」とは、小金井市民の方々からご自宅等にある食料を寄付していただき、それを取りまとめて小分けにして、困っている学生の方々に毎日配布する事業です。2020年5月18日(月)から6月12日(金)までの間の平日の合計20日間にわたって開催し(うち寄付の受付は6月5日(金)まで)、延べ60人の個人や団体の方々から寄付をいただき、延べ98人の学生の方々に食料を配布しました。

寄付の受付窓口を担当した小金井市社会福祉協議会の嶋田直人さんは、「最初の頃は災害用に備蓄していたカレーなどのレトルト食品やお米といった学生さんが必要とする保存食の寄付が多くたのですが、徐々に様々な種類の食材や調味料、お菓子なども増えてきました。皆さん、学生さんのことを本当に心配している様子が伝わってきました」と言います。

窓口に来た市民の方々からは、「コロナ禍の中、困っている方々のために何かしたいという想いがありました。自分が何をすれば良いかわかりませんでした。この事業を知って、学生の皆さんのお役に立ちたいと思いました」、「自分の子供も地方で一人暮らしをしているので、他人ごとではないと思い、寄付をしました」というお言葉があり、寄付された食料には、助け合いの温かい気持ちが詰まっていることを感じました。

予想をはるかに上回る寄付を目の当たりにした実行委員長の西本康祐さん(小金井青年会議所)は、「これほどたくさんの方が、地域で困っている方を支援したいという想いを持っていることに驚きました。そして、この想いの受け皿をつくり、支援につなげることの重要性を改めて実感しました。今回の事業を通して、地域から求められていることを形にすることで、多くの方々とパートナーシップを築き、広がりを持つことができるという体験をしました。今後も、パートナーシップを大事にしながら、地域課題の解決に取り組んでいきたいです」と想いを語りました。

支援を受けた学生の方々からは「バイトがなくなり収入が減っていた中での利用だったため、大変助かりました」、「無料でたくさん食材をいただけて本当に助かっています。素晴らしい取り組み



をありがとうございます」と多くの感謝のお言葉をいただきました。小金井青年会議所の杉山均理事長は、「本当に、実施して良かったと思いました。これからも小金井青年会議所メンバー一同、心を一つにして小金井のために貢献していくたいと思います」と語っていました。

そして、今後の課題は――

「今回は、支援の対象を学生さんに限りましたが、それ以外の方からの問い合わせも多く、生活困窮世帯(たとえば母子家庭や父子家庭といった)のご家庭の支援をどうするか、ということも課題の一つです。今回の事業で余った食料は、小金井市社会福祉協議会の自立相談サポートセンターにて食材を必要としている方にお渡しすることを検討しています」(嶋田さん)

主催団体の小金井青年会議所も、小金井市社会福祉協議会も、コロナ禍で当初予定していた地域イベントなどの事業が次々と中止となり、それでも地域のために何ができるのか、模索を続けていました。そして支援を必要としている方々のために少しでもお役に立ちたい――

その想いは、小金井市に住む一人ひとりの想いでもあり、それが食材の寄付という形になって届けられた「小金井フードドライブ支援」。市民と市民の想いをつなぐ小金井の架け橋となりました。

ご協力いただきました市民の皆様、関係諸団体の皆様、本当にありがとうございました。

まちづくり委員会 委員長 吉田晶子(取材記事作成担当)

# 社会福祉法人小金井市社会福祉協議会に アルコール除菌液を寄付しました。

5月1日(金)

社会福祉法人小金井市社会福祉協議会

## 事業報告▼

5月1日(金)に社会福祉法人小金井市社会福祉協議会にアルコール除菌液を寄附いたしました。

社会福祉協議会の皆様からは、国の除菌液等の優先配布のスキームもありますが、まだ動き出しておらず、除菌液が不足している医療や介護の現場がある状況になっていることを伺いました。

青年会議所が寄附をしたアルコール除菌液は、社会福祉協議会から必要な現場に届けてくださることになりました。

また、現状の社会福祉協議会のコロナウイルスに関連した事業状況については、生活資金や家賃の福祉資金貸付事業の件数が増えていることや、来会される方のためにマスクを手作りされていることを伺いました。

青年会議所としては、今後もできるかぎりの支援をさせていただくことをお約束いたしました。



# 新型コロナウイルス対策事業 実行委員会を立ち上げました。

5月19日(火)

## 事業報告▼

2020年5月25日(月)、緊急事態宣言が全面解除されましたが、経済の回復、学校教育の再開、感染拡大防止のための新しい生活様式の普及等、多くの課題が残されています。

今後も続くウィズコロナ、アフターコロナの時代の変化する新しい課題に取り組むために、この度、小金井青年会議所では「新型コロナウイルス対策事業実行委員会」を立ち上げました。

通常の例会は担当する委員会が中心となって実施しますが、この予測のつかない状況に流動的に対応するために、従来の枠組みである委員会の垣根を越えて実行委員会を組織して、様々なメンバーのアイディアを活かしながら、小金井青年会議所が一丸となってコロナ対策事業に取り組んでいく所存です。

## 新型コロナウイルス対策に関する 事業実行委員会の立ち上げについて

JCI  
KOGANEI

当青年会議所では、既に社会福祉法人小金井市社会福祉協議会にアルコール除菌液を寄附し、また、同社会福祉協議会と協働で市内学生を支援するために「小金井フードドライブ支援」を実施しているところですが、今後も、地域の諸団体の皆様と連携しながら事業を実施していくたいと思っておりますので、ご理解、ご協力の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。

# 第1回小金井青年会議所新型コロナウイルス対策事業 「コロナ禍の今、JCにできること～齋藤会長から、聴講せよ。～」

6月30日(火) Zoom

## 事業報告▼

6月30日(火)、小金井青年会議所新型コロナウイルス対策事業実行委員会の第1回事業「コロナ禍の今、JCにできること～齋藤会長から、聴講せよ。～」が開催されました。

新型コロナウイルス対策事業実行委員会は、4月16日に発令された緊急事態宣言により新型コロナウイルスの影響で人が集まることを制限される中、青年会議所としてどのような活動ができるか、求められているか、という事を議論し検討する中で今の状況でできる範囲で最善の活動をしようという想いを実行するために担当例会が中止になった委員会を中心に有志を募り組織されました。

新型コロナウイルス対策事業実行委員会の事業として第1回にあたる本事業ではウィズコロナ・アフターコロナ時代のこれからの中青年会議所活動や自身のビジネスを行う上で必要な変化と共に考え、学ぶことを目的に、WEB上で集まれる会議ツールのZoomを使用し、公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会第49代会長の斎藤祥文君をお招きし、コロナ状況下における今後の青年会議所の在り方について聴講し、さらには一步踏み込みご自身のビジネスに対する取り組みを杉山理事長との対談形式でお話を伺うことで、今後の活動の糧となるよう開催いたしました。



第1部では斎藤会長ご自身の青年会議所活動とビジネスの経験をふまえ青年会議所活動の取り組み方やコロナ状況下におけるこの先の「新しい常識・状況」へのお考えについてご講演頂きました。

第2部では杉山理事長が斎藤会長のもとへお伺いし、ソーシャルディスタンスを保ち飛沫防止のスクリーンを用いて万全のコロナ対策を行ったうえでの対談を行い、参加者は現地の状況をZoomにて視聴するハイブリッド形式で行いました。

部分的にですが講師のもとへお伺いしてREALとZoomのハイブリッドなスタイルで開催できた事はニューノーマルへの大切な一步だったと思います。

新型コロナウイルス対策事業実行委員会  
第1回事業 実行委員長 清水 宏明



実際の対談写真



オンラインの対談写真

# 2020年度 小金井青年会議所「臨時総会」

6月25日(木) Zoom

## 事業報告▼

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染の可能性を最大限減らすことを目的として、小金井青年会議所設立以来初となるZoomを利用してのオンライン臨時総会を開催しました。臨時総会開催の目的趣旨は、新型コロナウイルスの影響により当初計画していた例会が中止となる中で、小金井青年会議所の目的、事業を達成するため、第一号議案として2020年度小金井青年会議所事業計画一部変更、また、第二号議案として変更に伴う2020年度小金井青年会議所予算の修正を決議することでした。

通常の総会や例会運営とは異なり、初めての試みであるオン

ラインでの運営においては進行に支障をきたさないよう事前の環境整備に細心の注意を払い設営しました。

結果として滞りなく進行し、第一号議案、第二号議案共に全員の賛成をいただくことができました。

最後に監事の佐々木大輔君からは、総会で修正事業計画を承認いただいた今日から、実行委員会においてより良い事業を構築していくほしいという旨の監事講評をいただき閉会を迎えることが出来ました。

総務室 清水 学



# 第773回例会 「JCI Impact」

2月20日(木)

東小金井駅開設記念会館 マロンホール

## 事業報告▼

本例会は日本青年会議所JCIプログラムを利用し、議案の作成を中心に学ぶ内容となりました。

青年会議所活動は様々な分野を学ぶ場となっておりますが、その中でも持続可能な開発目標(SDGs)と地域社会の発展に関する部分を取り扱うことが多いです。我々は地域のリーダーであり、能動的な市民として何ができるかを考えて活動しています。

事業はその目的や方法を共有するためのツールとして、全世界の

JAYCEEが共に学ぶ方法となっています。

今回のJCI Impactを通じて、事業の作成の意義、他国の事業の活用例を学ぶことの出来た例会となりました。

コロナの影響が強くなり、社会活動の変革期が来ております。本例会で学んだことを活かし、地域に、社会に誰ひとり取り残されない環境を作っていくことを思います。

会員研修委員会 委員長 中島 輝也



# 第774回例会 「青年経済人の為のチームビルディング」

6月11日(木) Zoom

## 事業報告▼

本例会「青年経済人のためのチームビルディング」は本来3月に実施する予定でしたが、同時期に感染が広がった新型コロナウイルスの影響により、小金井青年会議所初のオンライン例会として6月に開催されることになりました。これはファシリテーターをお願いしていた菅谷宏一氏（「すがや対話工房」代表）からの提案が発端であり、経験豊富な同氏のサポートがあったからこそ、初の試みでありますながら通常例会に遜色のない運営が実現したものです。新しい生活様式の実践を社会全体が模索する今、青年会議所としても意義のある取り組みになったと考えています。

当日はオンライン例会に慣れていないメンバーも気軽に参加できるよう、内容をやや簡略化し、本年度のスローガンである「報恩謝徳」をテーマにしたワールドカフェを行いました。スローガンや所信の下に一体感を高めることはチームビルディングの基本ですが、多くの人が苦しい思いをされている社会情勢だからこそ、本年度理事長が掲げる「報恩謝徳」は皆の胸に響いたのではないかと思います。恩を感じる対象としては家族を挙げるメンバーが多くいた一方、コロナ禍で改めて会社や仕事に感謝の気持ちを持つようになったと話す人もいて、近況にも触れながら新たな一面を知る良い機会となりました。その後は青年会議所らしく、恩を返すためにどのような活動ができるか様々な考えを出し合いました。

久しぶりに顔を合わせるメンバーと笑顔で話ができることが何よりの収穫でした。

本例会を嚆矢としてオンラインの活用が更に発展し、「通常例会に遜色なくできる」から「オンラインでなければできないことができる」ようになれば、例会の可能性を大きく広げることになると期待しています。

ひとづくり委員会 委員 湯沢綾子



普段の暮らしのなかで、どんな恩や感謝を感じことがありますか？

報恩謝徳  
～感謝の気持ちを忘れず心を一つに～

- ・ ぶっちゃけ話歓迎 (カッコイイこと言わなくてOK)
- ・ 話すと聴くのバランス
- ・ かぶってOK (オンラインなので)
- ・ 話す順番は自由 (困ったら「あ」に近い名前の人から)
- ・ チャットを活用
- ・ 沈黙も自分との対話

15

10 30

A large grid of video call frames showing many participants in a group discussion. The grid is organized in a 4x6 pattern, with some frames being blacked out. The participants are shown in various settings, including an office and a library. A small logo for "JCI" is visible in the bottom right corner of the grid.

## 新型コロナウイルスの影響に伴う 例会・セミナー中止のご案内

新型コロナウイルス感染症（C O V I D - 1 9）の拡大を受け、国内外での蔓延防止や安全上の観点から実施が困難であることを踏まえ、下記、例会・セミナー・イベントの延期または中止のご案内となります。

### 【1】3月5日（木）開催予定⇒延期

組織運営セミナー

### 【2】2020年4月23日（木）開催予定⇒中止

第775回例会 4LOM合同例会「W O R K ≠ L I F E ~仕事も  
プライベートも充実させる魔法の働き方~」

### 【3】2020年6月13日（土）・14日（日）開催予定⇒中止

第777回例会「キッズ・カーニバルKOGANEI 2020」

### 【4】10月17日（土）・18日（日）開催予定⇒中止

第781回例会【小金井なかよし市民祭り】

【1】～【4】の延期や中止となりました組織セミナー、例会に参加を予定されていた皆さん、運営にご協力いただいた皆さんにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

新たに延期日時等が決定した場合は、随時ホームページを更新します。

ホームページ  
<http://koganeijc.com/>



## 小金井青年会議所では新入会員を募集しております！

青年会議所（J C）は「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次世代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの経済青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意思によりその住居する各都市の青年会議所に入会できます。40歳までの青年をぜひご紹介下さい。ご紹介いただいた方には、私達からPRに伺わせていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ホームページ  
<http://koganeijc.com/>



フェイスブック  
<https://www.facebook.com/koganeijc/>



編集：小金井青年会議所 総務室

〒184-0004 小金井市本町1-18-17 B1

【連絡先】090-4537-9167(専務理事 濱野智徳)

E-mail:mail@koganeijc.com